

温泉で1日を始める人たち。早朝から賑わう武雄温泉には『朝湯会』と呼ばれる会があります。橋町で農業を営む中川強次さんもこの会のメンバーの一人です。朝湯を始めてもう20年ほど。先輩から勧められたことがきっかけで、すっかり習慣になったそう。その魅力は「一番風呂」であることはもちろん、仲間たちとの交流だといいます。「毎朝、温泉で顔を合わせ言葉を交わす。これは武雄ならではの文

化で、今後も大切にしたいもの。」と中川さん。長年勤めた建設会社を退職し、今は農業と体を動かすことを楽しみにしているのだとか。その言葉通り、朝湯後1時間ほどウォーキングへ。これも10年以上続けているそうで、「毎日が充実している。」と笑顔が溢れます。活動的な中川さんの健康の秘訣は「好きなことを続けること」。「継続は時に難しい。でも、気づいたら続いていたんです。好きだから。」と、これからも温泉・運動・農業を存分に楽しみます。



朝湯会
中川 強次さん



私の秘訣
好きな事を続ける



武雄市観光協会
武雄温泉ボランティア
観光ガイド会長
清水 達也さん



私の秘訣
人との出会い

89歳にしてボランティア観光ガイドを務める清水達也さん。70歳からガイドを始め今年で19年になるベテランガイドです。武雄の観光を知り尽くした清水さんは、「武雄温泉楼門」で歴史の旅へと案内してくれます。「楼門、あるのが当たり前じゃないんです。武雄だからこそなんです。」と清水さん。これまで何人もの方を案内し、再認識したのは「次世代に伝えていく大切さ」。自ら歴史を勉強し、隠れた観光名所を案内してくれる清水さんの声には、郷土の誇りを感じます。

そんな清水さんの健康の秘訣は、「人との出会い」。「明日という漢字は『明るい日』。人と出会い、そう過ごせるように。」と笑顔で語ります。それに加え、今までの生活を大きく変えないことを心がけているそう。「コロナで観光客は減ったけど、『また来るね!』と言ってくれた人、興味を持ってきている人たちに会える日を楽しみに待っています」と、優しい笑顔で武雄の歴史を語り続けます。

私たちの「健康」の秘訣

作物の食害だけでなく、耕地の掘り起こしなどの被害をもたらすイノシシ。この被害を防ぐために、たくさんの方が活動してくれています。「佐賀県猟友会武雄支部」もその一つ。山内町に住む坂口静雄さんは、約80名が所属するこの会の最年長として活躍しています。猟を始めて今年で54年。最近、はこ巽を使った有害鳥獣の駆除を行っています。「家で過ごすのは雨の日くらいで、ほぼ毎日外で仕事。体は強

いほうです。(笑)」と坂口さん。早くにお父様を亡くしたこともあり、若いうちから働いてきた経験が今に活かされているといいます。そんな坂口さんの健康の秘訣は、「外で体を動かすこと」。みんなで楽しみながら運動できるグラウンドゴルフに興味を持ち、週に2回参加しているそう。「太陽の光を浴びて、汗をかき、人のために働くことが生きがい。」と笑顔で語る坂口さんは、今日も武雄市のために活躍してくれています。



佐賀県猟友会武雄支部
坂口 静雄さん



私の秘訣
外に出ること
動くこと



つゆ 店主
滝本 ミチエさん

看板がぼんやりと灯る夜。趣のある外観が印象的な「つゆ」の店内は、思わず「ただいま」と言いたくなるような温かさ。この店を一人で切り盛りしている滝本ミチエさんが、とびきりの笑顔で迎えてくれます。店を始めて今年で55年。常連のお客さんの中には20年以上通っている方もいるのだとか。「お客さんというか、家族のような存在です」と、カウンター越しに笑う滝本さんの1日の始まりは午前7時。まずは家事を済ませ、午前中は店の掃除。お昼は自転車で買い物に行き、急いで料理を仕込みます。

「みんな来るのが早いですよ(笑)」と、この日も旬の野菜で作った料理を前に、お客さんとの会話が弾んでいました。その姿はまるで「みんなのお母さん」。長年、愛されてきた理由が分かります。そんな滝本さんに健康の秘訣を聞くと「毎日笑顔で仕事と食事をする事」だそう。「まだ86歳。60周年目指して毎日笑顔で!」と、今日も着物に刺繍着を羽織り、温かい笑顔でお客さんとの時間を楽しみます。



つゆ
住所 武雄町大字富岡7645
電話 0954-22-3874
営業時間 17:00~
定休日 月、火曜日